

## 令和4年度第2回北杜市魅力発信検討委員会議事録

- 1 開催日時 令和4年11月25日(金)午前10時30分～午前11時50分
- 2 開催場所 北杜市役所西館2階会議室
- 3 出席委員 小林昭治、浅川幸彦、桜井彰一、内田英一、古屋昭彦、横森千恵子
- 4 欠席委員 坂本肇、三井麻里子、加藤きくじ、伊部袈裟晴
- 5 事務局 秘書広報課 小澤哲彦、  
広聴広報担当 廣嶋満、齊藤ゆか、浅川実李
- 6 会議録署名 浅川幸彦、横森千恵子

7 公開・非公開の別 公開

8 傍聴人 なし

9 内容

(1)開会

(2)会長あいさつ

(3)議事

### 議事1 広報ほくとについて

【委員】前回の委員会で、SDGs 関連の特集を組むと話があった。前回から3ヶ月経過しているがどうなったか。

【事務局】8～9月の早い段階で特集する予定だったが、政策の都合上、マイナンバーカードや商品券など優先的に載せなければならない話題が増え、現在見送っている状況。この先成人式などの大きなイベントの掲載予定もあるため、何ヶ月か先にはなるがSDGsについてはぜひ取り上げたいと考えている。

【委員】SDGsといっても幅広いが、何を取り上げる予定か。SDGsはゼロカーボンで考えることが多いが、そうではなく、何を目標に取り組むかということ。どのような切り口で取り上げるのか。

【事務局】掲載の時期によってホットな話題を取り上げるのが良いと思うが、現時点では市がスマート農業・有機農業を推進していることを踏まえ、農業の取り組みやそれに伴う子どもたちへの食育について紹介したいと企画している。

【委員】SDGsの専門家が2月にいちど、国から来てワークショップをやっている。そういった専門家の意見も聞いてみるのも良いのではないか。また、地域の取り組み自体がSDGsに当てはまることもある。この委員会にも、各分野に精通した委員がたくさんいるので、ぜひ情報共有していただき、地域の取り組みを取り上げてほしい。

【委員】JA と市がタイアップして取り組むことはあるか。例えば田んぼにある白いローラーは市の関連する事業か。

【事務局】市の関連する事業ではない。市としては有機農業の肥料やアイガモロボなどを活用し、安全な食を推進していくため、取り組んでいる。

【委員】JA などと連携しながらできることに取り組んでほしい。

【委員】現在、物価高騰による肥料・飼料の値上がりに対して、「農畜連携」が行われている。例えば、農家が畜産家へ糞を提供し、その代わりに有機たい肥をもらうといった取り組みを進めているが、これも SDGs に当てはまるのではないか。他にも、フードロスの取り組みなど、北杜市で行われている取り組みを、広報紙や様々な媒体で伝えてほしい。

【委員】SDGs は、様々なことが関わりあっており、市民全員で取り組んでいかなければならない問題。そのために市役所としても、1つの課だけではなく、全庁を1つにして発信していくことが必要。

## 議事2 北杜市公式 Twitter について

### 議事3 その他 SNS について

【委員】インスタグラムのフォロワー数が増えた原因は何か。

【事務局】「TGC FES YAMANASHI 2022」への参加が一番大きいと考えられる。10代から30代の若い世代が何千人と集まった大規模なイベントで、観光課が PR ブースを出展し、インスタグラムをフォローしてくれた方にプレゼントを渡すキャンペーンを実施した。ここで新たなフォロワーが一気に500人ほど増えた。他にも観光課の方でイベントがあるたびキャンペーンなどを実施し、フォロワーを増やすよう取り組んでいる。

【委員】SNS と北杜市ホームページとの連携は。

【事務局】SNS での発信に、市ホームページ上で案内している URL を貼り、クリックひとつでページへ飛ぶことができるようにするなど、相互で紹介をしている。

【委員】ホームページのトップページから、必要なページに入りにくい。簡単に開けるような、何か工夫をしてほしい。また、広報紙は紙面に限りがあり、せっかく他の情報発信ツールがあるため、ホームページや SNS との連携も図り発信してもらいたい。

【委員】公式インスタグラムは、ふるさと納税課・観光課・秘書広報課の3課で運用しているとのことだが、今後他の課に拡大していく見通しはあるか。また、各地域で様々なイベントや取り組みが行われているが、取材や投稿の依頼はどういった手順で行えばよいか。

【事務局】取材依頼に関しては、様式がある。様式に記入のうえ提出していただき、広報紙、ニュース、SNS、または掲載できないかなど判断し、取材に伺っている。他にも様式に関わらず、直接ファックスや電話で依頼があった場合も、できる限り情報を収集して対応している。また、外に出向いて、他の課がやっているものなど積極的に情報を得られるよう声掛けをしている。また、今年度からふるさと納税課シティプロモーション担当ができた。市の良いところをプロモーションして、市の訪れる方や移住者を増すこと、市内の方に市の魅力を知ってもらうことを目的に業務を行っている。現在、シティプロモーション担当が音頭をとってインスタグラムを運用している。広聴広報担当は、庁舎内や市民の情報を収集してPRする役割を担っている。各課でそれぞれ発信したいものもあると思うが、範囲を広げすぎてしまうと管理運用が難しくなるため、一旦は広聴広報担当が広く情報を収集して投稿するやり方をとっている。

#### 議事4 ほくと魅力発信部について

【委員】今回男性からの応募はなかったか。

【事務局】特に制限は設けていなかったが、応募がなかった。

【委員】子育てにおいて男性の目線はまた見方が違ってくると思う。

【事務局】昨年度の活動日は休日だったが、今年度は平日に設定した。理由としては、子育て世帯に話しを伺い、平日仕事をしていない方で活動的な方が多くいると意見があったため。男性は平日仕事をしている方が多く、今回の募集では取り込めなかったのだと思う。現状を踏まえ、来年度以降はどのような所にスポットを当て、募集をかけるかが課題となる。

【委員】部員への研修はどこ業者に依頼しているか。

【事務局】業者ではなく、県内で活躍されている写真家やデザイナーに直接依頼している。また、文章の研修は八ヶ岳ジャーナルに依頼した。

【委員】12月にSNSリーディングカンパニーによる、SNSの発信の仕方について学ぶ研修を予定している。部員の方にも参加してもらえれば。

【事務局】ぜひ検討させていただきたい。

#### 議事5 情報発信に係る取り組みについて「週刊ほくとニュース」

【委員】アンケート結果によると、YouTubeでの視聴37%と非常に多くなっている。働き世代や若い世代の方はテレビを見るよりも、YouTubeで見た方が好きな時間に自分の都合で見ることができるため、割合がおおくなっていると読み取れるのではないか。印象に残ったものは、子どもた

ちに関わる回答が多くなっていて嬉しく思う。やはり、子どもたちに関わることが報道されると周りの人たちの視聴に繋がり、北杜市が目指している「子どもの笑顔でにぎわう街づくり」のためには、北杜市がいい所だと子どもたちに知ってもらい、次の世代につなげていくことが重要だと思う。現在、学校ではそれぞれの町の良さを拾い上げて、「コミュニティスクール」づくりに取り組んでいる。これは教育委員会全体で取り組んでいるが、学校運営協議会もそれぞれ設立し、学校を地域の「ひと・もの・こと」で支えていくことに力を入れている。しかし、「コミュニティスクール」の紹介が十分に地域の人々に伝わっていない部分がある。SDGsの話にもあったが、これからの持続可能な地域・学校の在り方を考えたときに、何か伝えていく機会を設けてもらえるとうれしい。

【事務局】検討します。

【委員】第1回委員会のアンケート結果と比べて、「番組を見たことがありますか」にあると回答した人の割合が3%減っている。YouTubeの視聴に移行していくとすれば、だんだんとテレビの視聴率が低くなってしまっているのではと心配している。例えば、現在は土曜日から金曜日までで同内容を放送しているが、月曜日から日曜日に変更はできないか。また、毎日2回放送しているが、時間帯の見直しはできるのか。アンケートの結果からも、「時間帯が合わない」という回答があり、年代別に見やすい時間がいつなのかを調査し、再度検討していく必要があると思う。

【事務局】現在の放送時間は、19時30分と22時30分からの2回で、これは過去のアンケート結果を踏まえ、夜帰宅してから見ることを想定し、設定している。その時間帯が合わない人には、見逃し配信としてYouTubeでの番組配信を行っている。今後時間帯についてのご意見があれば、再度検討していきたい。

【委員】今後視聴がYouTubeに移行していくことは妥当だと思うが、高齢者のことを考えると寂しいような気もするので、より見やすい時間帯の放送を検討してほしい。また、放送期間については、学校や仕事など土日休みの人が多く、土日に見ようと思っても次の話題に切り替わってしまっていることがあるため。

【委員】土曜日から金曜日までの放送だと知らなかった。以前、週刊ほくとニュースに自分が出ていると他の人に聞き、いざ日曜日に番組を見てみると次の話題に切り替わっていた経験がある。働いている人たちのことを思えば、月曜日から日曜日までの方がなじみ深い。

【委員】番組は見れば楽しいと思うが、アンケート結果にも「見たいと思わない」「面白くなさそう」といった感想がある。番組を見たことがない人にも、情

報発信することが大切。あらゆる情報ツールを上手く使いながら、まずは番組を見てもらうことに繋げる必要があると思う。

【委員】学校関係の話題は引き続き取り上げてほしい。新型コロナウイルスの影響で、学校行事への参加が制限されてしまい、知らないことが多い。また、番組を見逃がしてしまった人向けに、配信や番組内でのまとめ放送など、何か対応ができないか。

【事務局】放送時間に見られなかった人には、YouTubeでの配信で対応している。また、市ホームページにも一覧表にして公開している。

【委員】番組の中で再度YouTubeでも配信し、いつでも視聴できることを宣伝してほしい。

【事務局】見たいけど見られなかったということが1番残念。再度番組内でも周知していく。

以上